

# よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会

Yokohama Disaster Prevention



## 65号

1月 4 7 10

| 2025 | winter |

令和6年出初式リハーサルから 写真：近藤美樹さん

目次／フォト収集 ..... 1

令和7年 年頭のご挨拶 ..... 2

横浜市消防局警防部から ..... 3

消防車は語る(第19回) ..... 4  
K B式 万能型 消防車 1952年頃 神戸市

横浜消防の近代史 ..... 5～6  
保土ヶ谷宿の火消と大火

潤滑油と触媒 ..... 6  
事業所における自主点検の重要性

「減災新聞」の視点 ..... 7～8  
安らげる避難所確保を

「令和6年度防災施設視察研修会」を開催結果 ..... 8

防災の取り組みにアシスト ..... 9～10  
今、全国の火災の傾向は  
住宅火災で大切なことは、早い通報、初期消火と避難計画

各区 火災予防協会の紹介 ..... 11～12

横浜消防トピック ..... 13～15  
「横浜消防出初式 2025」今年も大盛況！  
「防火管理者の責務」 第3回  
全国初！消防ヘリコプターの女性パイロット誕生！  
航空消防隊の今後の展望  
令和6年度 横浜市消防操法技術訓練会

人的エラーからの脱却 X ..... 16

神奈川大学横浜キャンパス 防火・防災訓練の実施について ..... 17

防災よもやま話 ..... 19  
「半島の防災」～能登半島地震の教訓から～

令和6年度防災講演会 ..... 20  
「防災安全関係者」で鈴木会長が表彰受賞！ ..... 20

好評連載 ..... 21～22  
●新約消防白書 可愛い文化は安全を誘う  
●コラム 妄言多謝 ●横浜路地裏日記  
●わたしのベストショット ●朝食はコレ！

編集後記

私の趣味 ..... 23  
キャンピングカーで気まま旅と避難場所

# 「フォト収集」#29

## 山

牛奥ノ雁ヶ腹摺山にて  
撮影地：山梨県  
作者：武笠基和



## 京都

試飲  
撮影地：京都市中京区  
作者：有賀太重  
キンシ正宗



## 横浜

新年に想う  
撮影地：横浜市神奈川区  
作者：M・N



## 横浜

壁面緑化その6  
撮影地：横浜市中区  
作者：天野義照



# 令和7年 年頭のご挨拶

公益社団法人  
横浜市防火防災協会

会長

鈴木 正光



令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市民の皆様並びに会員各位、そして横浜市消防局はじめ関係団体におかれましては、平素から当協会の事業推進にご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、社会の様々な面でアフターコロナが進み、新たなワークスタイルの普及やデジタル化の進展などもあり、社会経済活動に大きな影響を与えています。

一方、災害を振り返りますと、元日の能登半島地震をはじめ、8月の日向灘を震源とする最大震度6弱を記録した地震では、危惧される南海トラフ地震の臨時情報が初めて出されました。また、集中豪雨や台風による大雨など風水害でも大きな被害が発生し、さらに夏には災害級ともいえる猛暑が続き、気象庁の観測でも猛暑日や各地の平均気温などの記録を更新し、最も暑い夏となりました。

そのような中、当協会では、来るべく大地震から健康や命を守るための備えをはじめ、災害関連死の予防、介護を必要とする高齢者等のケアなど幅広い対策についての講演会等を開催し、多くの皆様のご参加をいただき、今後の貴重な教訓としているところです。

当協会の運営では、諸物価の高騰などにも対応しながら各事業を着実に進め、さらに将来も見据えた事業拡大を図るなど堅実な経営のもと、横浜市の防火・防災力の向上に寄与していきたいと考えております。引き続き関係各位のご支援とご協力をお願いする次第でございます。

結びに、本年が災害や事故の少ない平穏な一年であり、市民の皆様並びに会員各位の益々のご健勝とご発展を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

横浜市消防局

局長

平中 隆



公益社団法人横浜市防火防災協会の会員の皆様には、令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えのことにとお慶び申し上げますとともに、日頃から本市消防行政に対しまして、深い御理解と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震、翌日2日に発生した羽田空港での航空機同士の接触事故、8月には南海トラフ地震臨時情報の発表、さらに、9月の能登半島地方での豪雨災害など、多くの災害の発生により、防災への関心が一層高まった年となりました。

消防局においては、こうした災害などを踏まえ、消防力の強化に向けて、震災対策用の消防用資機材の充実を図るほか、関係局と連携し、旧上瀬谷通信施設地区の広域防災拠点整備の検討などを進めています。

また、増加する救急需要に対応するため、昨年は救急隊を2隊増隊したほか、救急隊と医療機関とを、デジタル技術で結び、救急活動の円滑化を図るためのシステム構築に向けた実証事業を行うとともに、医療、福祉、子育てを所管する局と連携し、救急車の適正な利用へ繋げる「あんしん救急」の取組を開始しました。

さらに、地域防災力の強化に向けた取組として、より使いやすく、見やすく、リニューアルしたWEBサイト「よこはま防災e-パーク」や、横浜市民防災センターの新たな体験コンテンツである「マンション防災考えるーム」などを活用し、市民の皆様への防災啓発を図っています。

本年も市民や事業所の皆様の防災意識の向上や火災予防をはじめとした幅広い分野で、横浜市防火防災協会と連携させていただきながら「安心・安全を実感できる都市ヨコハマの実現」に向けた、各種施策に取り組んでいきたいと考えております。

結びに、本年が災禍のない平穏な一年となるよう祈念いたしますとともに、横浜市防火防災協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

# 横浜市 消防局 警防部 から

## 「災害からの教訓」

昨年、元日の地震と9月の記録的大雨で二重被災した、石川県・能登半島。1月の大規模地震の傷が癒えぬ中での豪雨災害という前例のない事態に見舞われました。

こうした国内で発生した大規模な自然災害には、消防は都道府県単位でチームを編成し、緊急消防援助隊として被災地に赴き人命救助活動等を行います。横浜市消防局は、平成12年有珠山噴火災害から能登半島

地震まで計20回の出動を数え、災害派遣で得た課題や教訓は、今後も多くの方々にお伝え続けていく必要があります。また、幾多の派遣活動で思うこと、それは被災地住民による懸命な避難誘導等によって多くの命が救われたことです。

切迫する南海トラフ巨大地震や首都圏直下地震に備え、消防力を高めるとともに地域や事業所の皆様との連携をさらに深めてまいりますので、お力添えをお願いいたします。



警防部長  
藤沢 直樹

## 令和6年の出来事

### 能登半島地震被災地への派遣



航空隊の活動状況



救助活動の状況



宿営地の状況

元日発生の能登半島地震に、緊急消防援助隊として、43日間、延べ146隊560名を派遣しました。主要道路の多くが断断されていたため、消防ヘリコプターの機動力を活用するなど、過酷な状況に屈することなく救助活動を実施しました。

### 消防隊等訓練



火災訓練



はしご活動訓練会



大規模テロ災害対応訓練

特殊消防部隊等習熟訓練、泡放水訓練、火災訓練、消防団連携訓練、警防活動技術交換会、はしご活動訓練会、大規模テロ災害対応訓練など、多種多様な訓練を実施し、複雑多様化する災害への対応能力の向上に取り組んでいます。

### 救助隊訓練



救助応用訓練



水面救助訓練



航空救助訓練

救助応用訓練(陸)、水面救助訓練(海)及び航空救助連携訓練(空)を年間通して実施しており、陸・海・空のあらゆる分野において災害対応能力の向上に取り組んでいます。

## KB式 万能型 消防車

1952年頃 神戸市

1950年頃、戦後復興期の消防車用シャシが十分ではなかったころ、様々な工夫をして消防力を確保しようと神戸市の消防装備担当者が創意工夫をし、努力をしていた様子がうかがえる。その1台がこのイラストの『万能型消防車』である。市内を走行すると従来の消防車らしからぬ特別な形態から非常に人気があったとのことである。

セダンを思わせるデザインであるが、当時、トヨタの最新鋭トラックをベースにしている。

消防車でありながらその機能は、ポンプ・水槽・指揮車・広報車・救急車の役割を持っていた。スタイルは当時の消防車からはかけ離れていて閉鎖型のキャブでありながらポンプも車内に収まって一見して、当時、はやりだした流線形を取り入れていて消防車には見えない。

この考え方は各地に広がり、大阪市の救援車は消防・救助・救急を合わせた任務を負った特別なスタイルをしていた。その後、これらの万能型・複合型はやはり目的ごとに専用化するのが妥当として発展はしなかったが災害対処適応性・重要性を認識させる一助となった。

### エピソード

この時期、民用車も独創的で面白いものが作られている。その車が来ることを知ると『のりもの』を乗り継ぎ、遠くの町まで50円札を握りしめ見に行った。それは『カバヤキャラメル』の【カバ車】というコマーシャルカーである。ぜひ、検索されたい。当時は艶消しのチャコールグレーの塗装で実物と見間違えう雰囲気を持っていた。後年は、赤色に塗装され玩具の感じであった。15台も作られ全国隅々まで周り大きな功績を残したと私は高く評価する。(敬)



防災・生活安全 がもん 我聞塾  
**佐藤 榮一**

イラストのサインSakaeは榮一の榮で高校時代から使用しています。



Sakae Eichi .

画：佐藤榮一

# 横浜消防の近代史

横浜都市発展記念館

主任調査研究員 吉田 律人

## 保土ヶ谷宿の火消と大火



保土ヶ谷宿の本陣跡 2024年11月撮影

開港以前、武蔵国久良岐郡横浜村が半農半漁の村落だった頃、現在の横浜市域で栄えていたのは、神奈川や保土ヶ谷、戸塚など東海道筋の宿場町であった。旅籠屋や茶屋、商家等の木造家屋の密集する宿場町では、一度火災が発生すると、大きな被害を招く可能性もあった。火災による被害は宿場町の機能を停滞させることになり、東西を結ぶ大動脈、東海道の人やモノの流れにも影響を与える。それゆえ、宿場町では、厳重な防火対策がなされており、強風時などは宿役人等による警戒も行われていた。そうした宿場町の防火対策は天保2(1831)年の神奈川宿の大火を事例に火災発生時の対応を検証した井上攻の研究に詳しい(『近世社会の成熟と宿場世界』岩田書院、2008年)。ただし、史的な制約もあり、残念ながら防火対策の全容解明には至っていない。それらの点を踏まえつつ、今回は

先行研究の成果を中心に、保土ヶ谷宿の消防と大火について整理してみたい。

保土ヶ谷区の自治体史には、東京帝国大学国史学科卒の磯貝正を中心に、1938(昭和13)年に刊行された『保土ヶ谷区郷土史』(保土ヶ谷区郷土史刊行委員会)のほか、横浜を代表する郷土史家であった石井光太郎を編集部会長に、1997(平成9)年に刊行された『保土ヶ谷区史』(保土ヶ谷区制七十周年記念事業実行委員会)などがある。前者は保土ヶ谷宿本陣であった軽部家の文書等を活用しながら保土ヶ谷宿の火災を再現している(1148～1195頁)。一方、後者は前者の研究を基礎に、隣接する各区の自治体史等を活用しつつ、年表である「保土ヶ谷の災厄」を作成、江戸時代の災害を俯瞰した(160～167頁)。それによると、史料から確認できる保土ヶ谷宿の火災は14件で、最大の

被害は寛文3年2月25日(1663年3月24日)に発生した大火であった。この火災について『保土ヶ谷区郷土史』は「当時四百軒に満たない保土ヶ谷宿の焼失家屋が五百軒に報ぜられて居るのを見ても如何に騒ぎが大きかったかを想像することが出来やう」と評している。

さて、中村信太郎編『大札記念 保土ヶ谷名鑑』(保土ヶ谷名鑑社、1929年)は江戸時代の火消組として、ほ組(保土ヶ谷方面)、い組(岩間方面)、と組(神戸方面)、か組(帷子方面)の4組があったとしている。『保土ヶ谷区郷土史』は江戸時代の状況に関して、「保土ヶ谷の様な宿場には最初は消防組などなかった。先づ出火だと判ると火事だと騒ぎ立てる。そして近所近隣の者が駆付けて消火に努めたのであった」とする一方、後に誕生した4つの火消組については「之は何時頃からの事か判然としない」としており、詳細はわかっていない。

本誌第52号(2021年10月)で紹介した鈴木要蔵『開港横浜纏鑑』(1868年)には、保土ヶ谷宿の火消組の纏と消札、法被等が図示され、各組の管轄区域と構成人数も記されている。ちょうど時代が



『開港横浜纏鑑』に記された保土ヶ谷宿の火消組 横浜開港資料館所蔵

江戸から明治へと移行する時点で、ほ組は30人、い組は38人、と組は18人、か組は50人で構成されていた。慶応4年1月3日(1868年1月27日)、京都郊外の鳥羽・伏見で新政府軍と旧幕府軍が衝突、戊辰戦争へと発展していくなか、保土ヶ谷宿の隣、神奈川宿では1月7日に大火が発生する。同時代の慣例を考えれば、保土ヶ谷宿の火消組も応援にむかったと推察できる。

## 潤滑油と触媒

防災を滑らかに伝え、周りを触発する手法アレコレ

今回の触発キーワード 『事業所における自主点検の重要性』

まずは少々お堅い話から。消防法第8条に定める防火管理者が行わなければならない業務のひとつとして、消防計画の作成があります。そしてその消防計画に定めるべき事項のひとつとして、消防法施行規則第3条に「火災予防上の自主検査に関する事」という条文が存在します。もちろんのこと、消防計画には、それ以外にも定めるべき事柄が数多ありますが、今回はこの自主検査について雑感を述べたいと思います。

自主検査は自主点検とも表現されますが(以降は自主点検と表記します)、各事業所で点検をする必要がある箇所を抽出して、その部分を従業員等がチェックをして確認をするという行為がこれにあたります。

では、点検箇所にはどのようなものがあるかというと、①火気を使用する場所②建物・避難経路③消防用設備などが挙げられ、点検にあつては項目毎のチェックリストを作成し、それぞれに時期を定めて、例えば上記

①については毎日、②③については週に1回などと時期を決めて行っていくのが一般的な実施方法になります。

実際の点検にあつては、決められた担当者だけが行うのではなく、従業員全員が行うことに意義があると考えます。点検を全ての従業員が行うことにより、事業所内で火気を取り扱う場所、消防用設備が設置されている場所、階段や廊下など避難施設の状況等を把握・確認できることになるため、防火・防災に対する意識の向上が図られることになるからです。実際に従業員に対する防火・防災教育という観点から、輪番で全従業員に点検を行わせている事業所もあるようです。管理権原者や防火管理者の立場で日頃の教育に頭を悩ませている方々には、実践の価値があるかと思えます。(吾)



# 「減災新聞」の視点

神奈川新聞論説委員 渡辺 渉



新潟県中越地震の被災地で住民が身を寄せたビニールハウスの自主避難所＝2004年11月、長岡市

## 安らげる避難所確保を

「家が壊れ、職を失った人たちが、なんで体育館で雑魚寝をしなきゃいかんのですか」。昨年9月、自民党総裁選の所見発表演説会。候補者の一人だった石破茂氏が強い口調で疑問を投げ掛けた。「能登半島、はっきり言って、101年前の関東大震災と変わらない。体育館で雑魚寝。そのようなことは先進国で日本だけだ」

大地震で家を失うなどした被災者を受け入れるため、小中学校などに開設される避難所。総裁選を勝ち抜いた石破氏が首相に選ばれたことで、避難所の環境改善をいかに実現するかが政府の防災対応の大きなテーマとなった。

災害対策の現状を見渡せば、それ自体は悪いことではない。だが、かねて被災地支援に関わってきた人々からは、これまでたびたび避難所の問題点が指摘されてきただけに、遅きに失した感も否めない。石破氏自身が言及したように、避難所の環境が100年も変わっていないのであれば、これまで

の公助に問題があったと言わざるを得ない。

従来の避難所は主に公立学校の体育館が使われてきた。プライバシーの確保はままならず、安眠できないばかりか、着替えや授乳もはばかられる。断水地域ではトイレや入浴も困難で、衛生状態も悪化しがちだ。こうした劣悪な環境が被災者間のトラブルや性犯罪の温床になっていると問題視され、避難中に持病の悪化などで命を落とす「災害関連死」の要因となってきた。トイレに行く頻度を減らそうと、水分補給を控える高齢者が我慢を強いられる一方、避難所を敬遠し、窮屈なマイカーでの車中泊を選択する家族も少なくなかった。

段ボール製のベッドや間仕切りが導入されるなど、一定の改善策が講じられてきたものの、冷暖房設備の付いた大型テントを活用するイタリアや台湾などと比較して、対応が遅れているのは明らかだった。

加えて、災害の規模が大きくなるほど避難所への支援が届きにくくなるという、解決の難しい課題も横たわっている。2011年の東日本大震災は深刻な被災地が複数の県にまたがる広域災害だったため、避難所の環境整備が遅れた。一方、1年前の能登半島地震ではアクセスの難しい半島先端部の被災地が道路寸断の影響で孤立し、避難生活に必要な物資がすぐには届かなかった。

ならば自分たちの手で安心できる空間をと、複数の住民が身を寄せた場所の一つに、農業用のビニールハウスがある。石川県輪島市の山あいの集落では「知らない人が多い避難所より、ここがいい」と布団やカーペットを持ち寄ったという。食事や生活用水の確保も協力し、寒さと空腹をしのいだ人々の姿は共助の一つの形ではあるが、そもそもこうした支え合いを前提として公助を組み立てるべきではない。

20年前、今回と全く同じ光景を私は目にしていた。能登同様に最大震度7を記録した2004年10月の新潟県中越地震。避難所に指定されていた学校の施設が損壊する中、長岡市や小千谷市ではビニールハウスが「自主避難所」として運営された。激しい揺れで室内が散乱した自宅の片付けに追われていた住民は「遠くの避難所より、ここがいい」と食材や発電機などを持ち寄り、顔なじみが集うその空間を再起の足掛かりにした。



中越地震で大勢の被災者が避難した小千谷市総合体育館。ベッドや間仕切りはなかった。

取材した当時は、横浜のような都市部ではなし得ない助け合いの好例と受け止めたが、20年を経た今も同じ場面が繰り返られるということは、公助が改善されていない証左と言うほかないだろう。

避難所の供与は、災害救助法に基づくものだ。「体育館で雑魚寝」の解消を目指すなら、そもそも避難所となる施設やスペースの確保策から見直す必要がある。民間の協力も欠かせないはずだ。

それゆえ一朝一夕には実現しないが、災害は待つてはくれない。創設を目指す「防災庁」や「防災省」のミッションとして避難所の改善を掲げるのであれば、政府が率先して議論をリードし、地域や企業を巻き込みながら被災者本位の解決策を見いだすことが欠かせない。

## 「令和6年度防災施設視察研修会」を開催しました。



### 【 横浜BUNTAI・横浜武道館 】

**実施日** 令和6年10月10日(木)

**実施場所** 横浜BUNTAI、横浜武道館

**参加人数** 47名

**視察内容** 建て替えが終わり2024年4月1日に開館(供用開始)したメインアリーナ「横浜BUNTAI」と2020年7月24日に開館した「横浜BUNTAI」のサブアリーナとなる「横浜武道館」の様々な特徴を持った客席、動線管理、一般には公開されない舞台裏等を視察しました。

## 第13回

# 防災の取り組みに アシスト

今、全国の火災の傾向は  
住宅火災で大切なことは、  
早い通報、初期消火と避難計画

火災は、時間と共に拡大するところに大きな特徴がある災害です。しかも出火後に自らの手で対応できる時間は数分と極めて短く、その間に対応できなければ、瞬く間に大規模な火災に発展していきます。

消防機関では火災による被害を一定規模に抑えることができるよう、119番通報があってから放水を開始するまでの時間を短縮する努力を続けています。しかし、出火後に火が建物の天井に移り、消火器では対応が困難となるまでの短い時間内にすべての地域に消防車を到着させることはできません。消防車が到着するまでの間も火災は拡大を続けますので、この間にも自主防火管理・自衛消防の活動が行われなければ、消防といえども火災から人の命を救うことは困難になります。ここに火災という災害に対して火災予防という仕組みが存在する一つの大きな意義があります。

### 火災の傾向

全国的に火災は減少傾向にあります。火災件数は昭和48年をピークに令和4年には約半分となり、火災による死者数は阪神淡路大震災があった平成7年をピークに約4割減少しています。

これは、度重なる悲惨な火災事故の発生を受けて、消防法令による消防用設備等や防火管理体制の規制が強化されたほか、火気使用設備・器具への安全機能の付加、地球環境の保護に伴う火気や火気設備の使用制限、健康増進による喫煙者の減少、ライターフェイルセーフ機能の付加による火遊びなどの減少など、様々な対策の推進や社会環境の変化が要因となっていると考えられます。そして、何よりも事業所等の皆さんが火災予防への取り組みを進め、その意識が高まっていることが大きいと言えます。

図1 建物火災1件あたりの焼損面積  
(消防白書から作成)

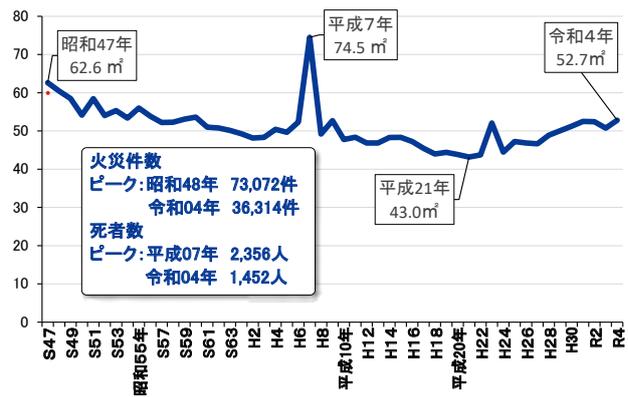
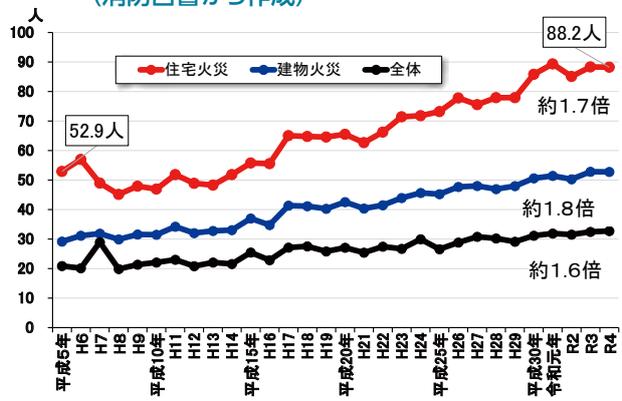


図2 火災1000件あたりの火災による死者数  
(消防白書から作成)



ただ、気になることもあります。火災が発生した対象物に着目してみると、建物火災1件あたりの焼損面積は近年やや増加傾向(図1)にあり、特に火災による死者や負傷者は顕著な増加傾向にあります(死者について図2)。

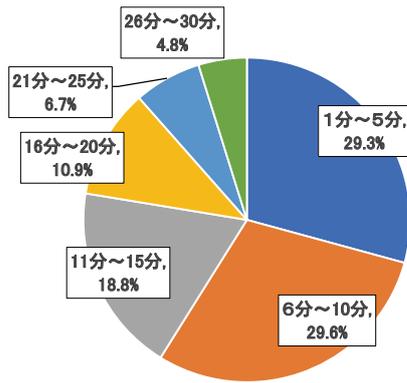
つまり、全体では火災件数等は減少しているものの、一度火災が発生すれば、一定の面積が焼損し、人的被害が大きくなる傾向にあるということです。これは、住宅火災の占める割合が高くなっていることが関係してそうです。

### 住宅における出火から通報までの時間

消防機関では、建物火災が発生した際の通報は概ね2分以内程度を期待しており、都市部では出火してから通報し消防隊が放水を開始するまで、概ね8分を目標とする考え方があります。

図3は、令和3年に消防庁が調査した一般住宅火災における出火から通報までの時間ですが、5分以内の通報が約3割で、10分以上の通報が5割近くあります。出火から通報まで10分もかかると、消防隊が出場して放水を開始するまでには20分近くの時間が経過することとなり、火災の拡大を防ぐことはより困難になります。これを裏付けるかのように全国の

図3 一般住宅火災における出火から通報までの時間  
(令和3年消防庁調べ、N=5,289件)



木造建物の火災の延焼率は年々高くなっており、最近では概ね3件に1件で延焼しています。

通報が遅くなっている要因として一つ考えられることがあります。一般住宅火災における119番通報は、出火建物以外の人が行うことが多い傾向にあります。住宅における快適性の追求や耐震基準の強化などがあって外壁構造や窓等の開口部の構造が堅牢になり、火災初期の段階では外部から炎や煙に気がつきにくくなっていることが関係しているのかもしれません。

通報と死者の関係では、通報が遅いほど死者の発生率が高くなっているデータもあり、火災を疑うような僅かな煙が見えた段階でも通報することの重要性を再認識する必要があります。

## 消火器の設置と避難計画

住宅用火災警報器(以下「住警器」という。)の住宅に対する設置率は全国で84.5% (令和6年6月現在)となり、火災の早期発見に大きな効果を上げていますが、消火器の住宅に対する設置率は、消火器工業会の調べによれば概ね40%程度で推移しているようです。この状況では、火災対応の原則である、早い発見・通報に加えて初期消火という基本的な行動が十分に達成できないことが心配されます。

米国では、一般住宅や共同住宅等の施設に対して州の条例等によりスプリンクラー設備等が規制されるなど国内とは規制の考え方が大きく異なっています

図4 米国消防庁の住宅避難計画の実践のためのステップ

7 steps to practicing your escape plan



が、米国消防庁や全米防火協会では、住宅において住警器が鳴ってから安全に避難できる時間は概ね2分以内と短いことから、住警器の設置と併せて避難計画を作るよう推奨しています(図4)。

国内では、22時から6時までの深夜帯の住宅火災による死者は4割を超えており、この時間帯の全火災の出火件数あたりの死者数は他の時間帯の3倍以上と増加傾向にあります。階段が一つである住宅の2階や3階にいるときに1階で火災があったときの避難、夜間寝ていたり照明が消えていたときに住警器が鳴ってからの避難など、高齢者にとっては難しい対応となることも予想されます。前記の避難計画では、家族で複数の避難路を確認し、高齢者への支援を含めて避難方法を話し合い、住警器の動作確認とともに避難訓練を年2回以上実施することなどが定められています。避難経路図には消火器の設置場所も記載しますので、それを記憶にとどめる役割も果たします。

住宅においても、火災発生後に早期発見・通報を行い、消防機関が到着する前に初期消火と早期避難をすることの重要性は変わりません。住宅の避難計画というのは、あまり馴染みがないことかも知れませんが、住宅火災による死者、特に高齢者の死者が増加している状況を踏まえ、家族とともに消火器の設置と避難計画を話し合ってみては如何でしょうか。



小野 和夫

## 講習日程の確認はスマートフォンでもラクラクできる!

パソコン、タブレット、スマートフォンなど、異なる画面サイズの端末に合わせてホームページを表示できるので、閲覧も操作も格段に向上しました。また、コンテンツが一体化された内容・デザインの統一をはかり、URLも一つになりました。



当協会では防火防災の各種資格取得講習を実施しています。

- 救命講習
- 危険物取扱者受験準備講習
- 防火管理者・防災管理者取得講習
- 患者等搬送乗務員講習
- 自衛消防業務講習

<https://ydp.or.jp>

# 各区 火災予防協会の紹介

## 青葉火災予防協会

### 会長コメント

青葉火災予防協会は、平成6年の青葉区誕生と同時に設立し、今年で30周年を迎えます。当協会では、消防訓練や防災研修会など様々な事業を通じて各事業所の防火・防災体制の強化をはじめ、会員相互が顔の見える関係を構築することで、事業所間の連携を深めています。青葉区に住む人訪れる人が「安全・安心を実感できるまち」であり続けられるよう、地域の皆様と共に火災予防等に取り組んでまいります。



青葉火災予防協会 会長 野路 秀雄



自衛消防隊消防操法技術訓練会



防災視察研修会

### 活動紹介

- ・ 防災視察研修会
- ・ 防火防災研修会
- ・ 自衛消防隊消防操法技術訓練会
- ・ 地域防災への支援
- ・ 青葉火災予防ポスター

### 協会のPR

- ・ 区内事業所(今年度:緑山スタジオ・三菱ケミカル)での防災視察研修会を開催し、会員間の顔の見える関係を築くとともに、事業所防災力の向上を図っています。
- ・ 地域、事業所、区役所、消防署が、各種防災フェアを開催し関係機関の連携を図っています。
- ・ 今年度新たに10事業所が加入しました。事業所間での防火・防災意識の高揚を図ってまいります。

●連絡先 青葉火災予防協会 事業推進担当(青葉消防署内) TEL/FAX : 045-974-0119 Mail : sy-aoba-yobo@city.yokohama.lg.jp

## 都筑火災予防協会

### 会長コメント

都筑火災予防協会では、ご入会により「署と顔の見える関係」を築くことができ、訓練や届け出等の相談や消防隊を活用した大掛かりな訓練についても実施が可能となっております。また、総会をはじめ、意見交換会等の出席により、会員相互間・他業種との交流促進に大きく寄与しております。



都筑火災予防協会 会長 城田 栄一



### 活動紹介

- ・ 火災予防運動
- ・ 自衛消防隊消防技術訓練会
- ・ 防災研修会
- ・ 各種行事への参加・協賛

消防用設備研修会

### 協会のPR

都筑火災予防協会では、総会をはじめ、年2回の理事会を開催し、会議後の意見交換会では、様々な情報を交換しています。また、今年度は、会員事業所で消防用設備研修会を開催し、多くの事業所様にご参加いただき大変有意義な研修会となりました。

●連絡先 都筑火災予防協会事務局 TEL/FAX : 045-945-0119 Mail : sy-tsuzukikakyou@city.yokohama.jp

## 戸塚火災予防協会

### 会長コメント

当協会は、昭和25年の発足以降、事業所の自主防災体制の向上と企業・地域の安全と安心を実現するために活動を行っています。現在、約200の事業所の加入があり、様々な事業を通じて、『顔の見える関係』や『共助のための連携』を図っています。『ONE TEAM TOTSUKA』をスローガンとし、『火災予防』や『地震・風水害等の自然災害への備え』について啓発活動を継続し、『安全・安心な町 戸塚』を創って参ります。



戸塚火災予防協会 会長 横川 秀男



戸塚火災予防協会  
ホームページ



防災視察研修会 意見交換会

### 活動紹介

- ・ 防災基礎研修会
- ・ 防災視察研修会及び意見交換会の開催
- ・ 戸塚区自衛消防操法技術競技会では初期消火(消火器取扱)の部を実施
- ・ 住宅用火災警報器設置・交換啓発用広報物の制作及び配布

### 協会のPR

- ・ ホームページを制作しました
- ・ 横浜市消防操法技術訓練会に会員が出場し、屋内消火栓 I の部で『優秀賞』に選ばれました。
- ・ 事業所の減災対策研修(12月)を実施しました。
- ・ 会員事業所の普通救命講習を年2回(12月・3月)開催します

●連絡先 戸塚火災予防協会事務局 Mail : sy-totsuka-kakyou@city.yokohama.lg.jp

# 災害に備える仲間募集!!

## 栄火災予防協会

### 会長コメント

甚大な被害をもたらす災害が頻発する昨今の現状を鑑みると、改めて地域防災力の重要性が高まっていることを痛感します。栄区は高齢化率が高く、河川、がけ地といった地形的な不安要素を抱えているため、いかに災害を防ぐかが喫緊の課題となります。明るい未来を目指し、「家庭・地域・事業所・行政」が一体となって「安心して暮らせる街」の実現に向け会員一同、力を合わせて活動してまいります。



栄火災予防協会 会長 角田 宏子



理事会 総会



栄区自衛消防隊技術訓練会

### 活動紹介

- ・理事会 総会
- ・救命講習会
- ・消防操法技術訓練会
- ・消防用設備等取扱研修会
- ・防災視察研修会 等

### 協会のPR

当会は97会員が在籍し、各会員が互いに連携し合いながら、研修会や防災イベント等を通じて自主防災意識の高揚と地域防災力の向上のために様々な活動を行っています。

●連絡先 栄火災予防協会 事業推進担当(栄消防署内) TEL/FAX : 045-892-0119 Mail : sy-sakaeyobo@city.yokohama.lg.jp  
栄火災予防協会HP : <https://sakaekasaiyobokyokai.com>

## 泉火災予防協会

### 会長コメント

当協会は、自らの防火防災能力の向上のみならず、消防署、消防団、地域の皆様と協力しながら泉区全体の防災力向上に寄与しています。泉区内の地域、事業所等の横のつながりを広げ、強固にすることが地域防災力の向上に発展することと思います。私たちの住まいや事業所がある地域での社会貢献や相互に助け合う仲間を増やし、さらなる安全・安心の泉区を築き上げていきましょう。



泉火災予防協会 会長 清水 隆男



秋の火災予防  
スタンプリー



地震体験

### 活動紹介

- ・消防訓練・救命講習の開催  
いざという時に、大切な人や職場の同僚の命を守るため、会員事業所を対象に消防訓練、普通救命講習を開催しています。
- ・秋の火災予防スタンプリーの開催  
小学生以下を対象とし、民間事業者との共催により令和6年7月に開業した「ゆめが丘ソラトス」をゴールとした事業を協会として支援しました。

### 協会のPR

- ・住宅用火災警報器配布事業  
地域貢献の取り組みとして、令和3年度から配布事業を実施しています。高齢者世帯の防火対策として、火災の早期発見及び逃げ遅れを防ぐことを目的としています。



「いっずん」  
泉区マスコット  
キャラクター

●連絡先 泉火災予防協会(泉消防署 総務・予防課内)担当:藤木 TEL : TEL/FAX 045-801-0119 Mail : sy-izumi-yobo@city.yokohama.lg.jp

## 瀬谷火災予防協会

### 会長コメント

令和6年4月22日の総会により会長に就任しました高橋です。会長という大任を賜り身が引き締まる思いでございます。瀬谷火災予防協会は、地域の防災・減災のため消防署と事業所そして地域をつなぐ存在ですから、精一杯努める所存です。微力ながら、瀬谷火災予防協会の発展と瀬谷区の安全安心のために尽くしてまいります。



瀬谷火災予防協会 会長 高橋 更一



音楽隊コンサートによる  
#7119広報(せや消防フェア)



せや消防フェアによる  
車両展示と活動PR

### 活動紹介

- ・Seya 防災ネットワーク  
春の防災研修会
- ・自衛消防隊初期消火訓練会
- ・地域防災支援(広報物の制作等)
- ・住宅用火災警報器貸与事業
- ・防火・防災ポスター事業
- ・防災施設研修会

### 協会のPR

最近の活動の1つとして、9月に「せや消防フェア」の後援等を行いました。子育て世帯を中心に約2,400人にご来場いただき、防災やあんしん救急の普及啓発に貢献することができました。

●連絡先 瀬谷火災予防協会事務局(瀬谷消防署内) TEL : 045-362-0119 Mail : sy-seyayobou@city.yokohama.lg.jp



# 「横浜消防出初式2025」今年も大盛況!

横浜市消防局 企画課

「横浜消防出初式 2025」は、昨年に引き続き、横浜赤レンガ倉庫で開催されました。今年も、能登半島地震から1年ということもあり、来場者の自助・共助の意識向上のため、特に防災に力を入れ、本イベントを開催しました。

迫力あふれる「消防総合訓練」、陸・海・空の部隊による「一斉放水」、消防音楽隊による一糸乱れぬ「ドリル演技」や伝統芸能「古式消防演技」など、恒例のステージイベントも大盛況をおさめました。

また、人気キャラクターのステージイベントやスタンプラリー企画などお子さまが楽しめるコンテンツも多数用意し、すべての年代の方にご満足いただけたかと思えます。

今後も、来場されたすべての方が楽しんでいただけるホスピタリティあふれるイベントを目指してまいります。



「横浜消防出初式2024」の様子



# 「防火管理者の責務」 第3回

横浜市消防局 指導課

## ～防火管理業務は人命救助の最前線～

前回10月号では、横浜市内の防火管理者選任率が低迷していることをご紹介させていただきました。引き続き、防火管理者選任のご協力をよろしくお願いいたします。

今回は、管理権原者が定める防火管理者の責務についてお伝えします。

### 1 防火管理者とは

消防法令で定める講習会の課程を修了した人、あるいは防火管理者として必要な学識経験を有する人など一定の資格を有し、かつ、防火管理上必要な業務を適切に遂行することができる管理的又は監督的な地位にある人をいいます。

なお、管理権原者自身が防火管理者を兼ねることもできます。

※一定規模以上の防火対象物(収容人員を含む。)に防火管理者選任義務が生じます。

### 2 防火管理業務は人命救助の最前線

日頃からの準備と火災発生直後、防火管理者を中心に初期消火や建物利用者の避難誘導を行うことにより、火災による被害を最小限にとどめることにつながります。

以上のことから、防火管理者は非常に重要な役割を担っています。

全3回に渡り、「自主防火管理体制」の構築の重要性について、お伝えさせていただきました。今後とも横浜市の予防行政へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

防火管理者の責務	
①	消防計画の作成
②	消防計画に基づく消火、通報及び避難の訓練の実施
③	消防の用に供する設備、消防用水又は消火活動上必要な施設の点検及び整備
④	火気の使用又は取扱いに関する監督
⑤	避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理
⑥	収容人員の管理
⑦	その他防火管理上必要な業務



# 全国初！消防ヘリコプターの女性パイロット誕生！

■ 横浜市消防局 横浜ヘリポート

## 【自己紹介】

皆さんこんにちは、横浜市消防局航空隊パイロットの小寺です。今年度に採用となりました新人パイロットです。

## 【パイロットになったきっかけは？】

大学卒業後は子供が好きなこともあり教員をしていたのですが、休暇をとり海外旅行へ行ったときに、何気なくヘリコプターの遊覧飛行を申し込みました。

ヘリコプターの助手席に座り、空から見た景色は、まるで自分自身が鳥になったようでした。そして、自分でヘリコプターを操縦したいという気持ちが芽生えたのを覚えています。

子供達には夢を諦めないようにと話していた自分を思い出し、パイロットという新しい夢を叶えるため教員を退職し、パイロットの養成学校に入校しました。



## 【横浜市で働くきっかけは？】

生まれ育った地元、横浜で働きたい思いを持ちながらもパイロットの採用募集がなく、しばらくは他の運航団体でパイロットとして勤務をしていたところ、横浜市消防局のパイロット採用募集が目に入りました。運命と思い採用試験を受け、合格できたのですが、今度は6か月間のとても厳しい消防学校での教育が待っていました。消防ホースを伸ばしたり、ロープを渡ったり、毎日がつらい訓練でしたが、自分の夢のため、汗を流していたことは自分の財産であり、今後も忘れないと思います。



## 【今後の抱負】

今は、晴れて横浜を守るパイロットとして勤務が始まりました。一日も早く災害任務に対応できるよう訓練をしています。

また、全国初の消防ヘリコプターの女性パイロットのロールモデルになれるよう頑張っています。

今後は、先輩のパイロットや整備士、救助員の皆さんからの指導を受けながら、市民の皆様の安全と安心を空からお守りできるよう取り組んでいきます。



## 航空隊の今後の展望

■ 横浜市消防局 横浜ヘリポート

横浜市の航空隊は、横浜市内だけでなく、神奈川県内の山岳地域や海上で発生した救助などの災害にも365日対応しています。

横浜市内に目を向けると、みなとみらい地区などの都心臨海部では、商業施設やホテルの建設が進むほか、大型客船の寄港数はコロナ禍前を超え、益々賑わいを見せています。

そのような中で、火災などの災害が発生した場合に備え、横浜を訪れる方や377万人の市民の皆様様の安全・安心の確保に向けて、航空隊の活動能力の更なる向上に取り組めます。

航空隊だからできる活動、航空隊にしかできない活動があります。

これからも時代の発展とともに、航空隊の活動も飛躍するようSafety Flightに向けて取り組めます。



## 令和6年度 横浜市消防操法技術訓練会

■ 横浜市消防局 予防課

令和6年10月17日(木)に、戸塚区深谷町の横浜市消防訓練センターで、令和6年度横浜市消防操法技術訓練会が、41隊193名の自衛消防隊の皆さまの参加のもと開催されました。

この訓練会は、昭和61年度から開催されており、今年度で36回目の開催となりました。

自衛消防隊は万が一、災害が発生した場合に、初期の活動を効果的に行い、被害を最小限に食い止めるために編成された組織です。大きな被害をもたらす大地震の発生が危惧されている中、各々の事業所の被害軽減や防災力の向上の役割だけでなく、地域の共助の担い手として、その力の発揮を期待されています。

訓練会では、屋内消火栓Ⅰ(女性の部)・屋内消火栓操法Ⅱ(男性又は男性女性混成の部)・小型ポンプ操法の3種目が実施され、各区から選抜された自衛消防隊が、事業所はもとより地域の安全・安心を守るため、日頃の訓練成果を披露しました。

今年は記録的な猛暑の中、各自衛消防隊が事業所防災力向上のため、訓練に励んだ成果を遺憾なく発揮され、高いレベルでの素晴らしい訓練会となりました。



訓練の様様 (小型ポンプ操法)



表彰楯  
(後援の横浜市防火防災協会より提供)



表彰式の模様 (屋内消火栓操法Ⅰ)

## 令和6年度横浜市消防操法技術訓練会結果

### 屋内消火栓操法Ⅰ [女性の部]

☆☆☆最優秀☆☆☆

医療法人社団鴨居病院(緑区)

☆☆優秀☆☆

医療法人  
横浜未来ヘルスケアシステム(戸塚区)

☆☆優秀☆☆

新横浜プリンスホテル(港北区)

他 優良10隊

### 屋内消火栓操法Ⅱ [男性又は男性・女性混成の部]

☆☆☆最優秀☆☆☆

緑区役所(緑区)

☆☆優秀☆☆

株式会社緑山スタジオ・シティ(青葉区)

☆☆優秀☆☆

東海旅客鉄道株式会社  
新横浜駅防災センター(港北区)

他 優良15隊

### 小型ポンプ操法

☆☆☆最優秀☆☆☆

株式会社DNPファインケミカル(緑区)

☆☆優秀☆☆

社会福祉法人清正会特別養護老人ホーム  
グリーンサイド清盛(旭区)

☆☆優秀☆☆

横浜刑務所(港南区)

他 優良7隊

# 「人的エラーからの脱却X」

リスクマネジメントコンサルタント

代表 岡田 康裕



2024年は能登半島地震から始まった。自然災害でいえば、夏の酷暑は尋常なものではなかった。8月末の台風10号の迷走ぶりは予測不可能であった。地震災害に追い打ちをかけるような二重被災といわれる水害も発生した。複合的な原因からスーパーマーケットからコメが姿を消すという事態も発生した。鉄道の計画運休を始めとする不具合も報告された。航空業界では、海上保安庁機と民間旅客機との衝突事故は忘れることができない。

また、事件事故とは異なる分野では、製造業等（自動車・医薬品・鉄道・保険）のデータ改ざんに代表される不祥事が相次いだ。日本経済を支えている企業である。その中で、第三者委員会的なものが開かれ、どの業界でも判を押すように報道され、言われていたことが、「企業風土の改革」ということであった。企業風土とは何か、変えることができるのか。そんなことを考えてみたい。

1990年以降、大手ゼネコンの経営破綻、金融機関の破綻が相次ぎ、企業統治の重要性が認知され、数十回を超える関係法令の改正も行われてきた。企業統治（コーポレートガバナンス）とは、端的に言えば企業経営者への規律づけと定義されている。経営者の独走や暴走、ワンマン体制、院政（会長・相談役・顧問）の蔓延の事例は、現在も報告されているところである。

企業風土とは、企業内で時間をかけて選抜され、過去のしがらみを背負った幹部職員集団が企業経営を維持するために構築した会社内外のネットワークの状態であり、企業を維持するための社会関係資本と定義することができるかもしれない。

企業統治と企業風土とは、実は親和性が非常に高い。経営トップが様々な企業統治のネットワークを自ら選別し、独自の取り巻きによるインナーサークルを作ることはよくあることであり、その特徴は、強い

結束力を発揮することである。さらには、グループシンの状態を発生しやすくし、対外的に隠ぺい体質を生みやすい。グループシンクは集団思考もしくは集団浅慮に陥りやすく、集団的決定の陥穽<sup>かんせい</sup>が待っている。

もう一つの罠は、サークルなりグループの構成は概ね優秀な専門家集団になりやすい。そこにあるのは、サイロ・エフェクトと呼ばれる専門家の陥穽であり、タコツボ現象と呼ばれるものが待っている。サイロは隔絶して活動するシステム、プロセスであり、物理的な建物・組織だけでなく、心理状態を意味することもあり、心の中や社会集団にも存在する。専門家はもちろんどのような組織にも必要であるが、問題は視野狭窄<sup>きょうさく</sup>を同時に発生させることにある。対策としては、開かれた組織にすること、人事において特定の属性の人間が集中しないようにすること、部門間の横断が自在にできるようにすることであるが、いずれも容易なことではない。



※岡田氏は当協会の非常勤講師を務めております。 ※「人的エラーからの脱却」は不定期に掲載いたします。

# 神奈川大学横浜キャンパス 防火・防災訓練の実施について

学校法人神奈川大学総務部危機管理課

神奈川大学は11学部22学科を設置し、約18,000人の学生が在籍する総合大学です。1928年の創設以来、約24万人、全国の大学で18番目に多くの卒業生を輩出しています。

横浜キャンパスには約13,000人の学生が在籍しており、地震や火災が発生した際、学生の命を守る立場である教職員が果たすべき役割は非常に大きいです。そのため、毎年夏に教職員を対象とした防火・防災訓練を実施しており、自衛消防隊員として身に付けるべき初期消火や応急救護、通報・連絡等に関する実技訓練を実施してきました。しかし、平均して約200名が参加する訓練において、1人ひとりの実践力を高めるプログラムを組むことが例年の課題となっており、さらにコロナ禍を挟んだことにより対面での訓練機会が減少し、教職員の間で知識や技量にばらつきが生じるなど新たな課題も出てきました。

こうした課題を解消すべく、横浜市防火防災協会に訓練に関するコンサルティング業務を依頼しました。8月23日訓練当日は教職員合わせて200名の参加者が100名ずつの班に分かれ、初期消火（水消火器・屋内消火栓）と応急救護（胸骨圧迫・AED）に関する訓練を交互に実施しました。参加者数に応じて講師の方を手厚く配置したことで、参加者一人ひとりがきめ細やかな指導を受けることができ、十分な指導時間を確保できなかった過去の訓練から環境が大きく改善され、参加者からは「これまで受けた訓練や講習の中で一番有意義だった」という声もいただきました。

訓練終了後には、訓練に対する講評のみならず、自衛消防隊の編成や消防計画に関するご意見もいただきました。これらを踏まえて次年度はより発展的な訓練を実施したいと思います。



消火器操作訓練（職員）



屋内消火栓放水訓練（職員）



## 防火防災 協会におまかせ!

当協会では、事業所の  
**訓練指導・防災管理点検** を実施しています。

**TEL 045-714-0929**



防火・防災  
コンサルティング

### 訓練指導

事業所の訓練指導やアドバイスを行っていますのでお声がけください。

**横浜市防火防災協会 防災支援課** 担当：鈴木・滝沢

防火管理者必携!

# 「消防関係法令集」最新版販売中!

## 本書の 特徴

- 監修／横浜市消防局予防部予防課
- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
- 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。

3,100 円(税込)  
(当協会会員 2,800 円)

## 新たに 改正した 主要内容

### 消防法施行令

・第34条、第36条 二酸化炭素消火設備に係る技術上の基準等の見直し

### 危険物の規制に関する規則

・第1条の6、第25条の6、第48条の3 屋外給油取扱所のキャンピー面積基準

### 横浜市火災予防条例

・第14条の2、第74条 急速充電設備の規制見直し

### その他

横浜市火災予防規則、横浜市危険物規制規則



- サイズ／A5
- 重さ／約1,200g
- 発行日／令和5年4月7日

## 購入方法

- ① 当協会窓口で購入
- ② 宅配を希望 (送料等の御負担をお願いします)

## 問い合わせ先

公益社団法人 横浜市防火防災協会  
電話 045-714-0920 (総務課)



「横浜市防火防災協会」のホームページにご案内と注文用紙がありますのでご利用ください

横浜市防火防災協会

<https://www.ydp.or.jp/consulting/>

## 防災管理点検

大地震発生時の防災体制の整備を図るため大規模・高層建築物等に対して、防災管理者の選任、地震災害に対応した消防計画作成、自衛消防組織の設置と併せて、防災管理点検報告が義務付けられています。

(※当協会会員の皆様には、ご相談に応じますのでお気軽にお声がけください!)

### 【義務付けられている建物】

対象用途  
共同住宅 (5項口)  
格納庫等 (13項口)  
倉庫 (14項)

以外の  
全ての用途

※複合用途の場合は、共同住宅、格納庫等、倉庫部分を除いた規模

### 規 模

① 階数が11以上の建物  
延面積10,000㎡以上

② 階数が5以上10以下の建物  
延面積20,000㎡以上

③ 階数が4以下の建物  
延面積50,000㎡以上

④ 地下街  
延面積1,000㎡以上

横浜市防火防災協会 防災支援課

担当：滝沢・河原

# 防災よもやま話

第5回



横浜市防火防災協会  
専務理事・防災士  
**山田 裕之**

## 「半島の防災」～能登半島地震の教訓から～

能登半島地震では集落の孤立が多発し長期化しました。能登半島には、観光地や産業地域を結ぶ国道249号線が半島を一周するように走っています。観光と経済に大きな役割を果たし、災害時の避難経路や物資輸送のルートとしても計画されるなど、地域住民の生活にとって重要なインフラとなっていました。249号線をはじめ、多くの道路が損壊や土砂崩れ等で寸断してしまったのです。

こうした事態は、私の生まれ故郷三浦半島にとっても身近で大きな問題です。崖やトンネル、階段などが数多く存在しています。そもそも半島は三方を海に囲まれ、山がちな地形ですから、交通アクセスが限られます。山間集落の孤立は各地で起こり得るリスクであり、交通アクセスの機能不全に備えた対策が必須ですが、一般的に半島内の自治体は小規模のため、自治体ごとの対応には限界があります。半島の防災には隣接自治体とはもちろん、より広域的な連携が欠かせませんし、何よりも国の関与が不可欠です。

「半島の防災」については、人口流出などの課題を抱える半島地域の振興を目的として、昭和60年に成立した半島振興法(23地域内の80市94町18村が対象。図参照)に規定されており、国の責務として「避難施設、備蓄倉庫、防災行政無線設備、人工衛星を利用した通信設備等の整備、教育訓練の実施、関係行政機関の連携強化」など、孤立化を防ぐための配慮がうたわれています。ただ、何とということか、同法は本年3月で期限が終了する時限立法となっています。

報道によれば、現在、同法に基づき、陸路寸断時に備えた港湾機能の強化、ヘリ発着場所の確保、平時も災害時も活用できるドローンの導入を加速することなどが議論されているようです。

観光立国を目指す日本にとって、半島地域には水産業、美しい景観、特徴的な民俗文化など貴重な観光・交流資源が多くあり、その担い手である住民の営みが不可欠です。半島振興法は当然に延長されるでしょうが、言うまでもなく半島地域の振興は地域住民の安全と安心があればこそ。能登半島はもとより、震災で同じ不安を抱えた各地の半島に暮らす方々のためにも、半島防災の強靱化が一刻も早く実現されることを願ってやみません。(ちなみに三浦半島は半島振興法の指定対象外でした。)



(国土交通省ホームページから引用)

## 横浜市防火防災協会 入会のご案内

当協会の目的に賛同されて入会を希望される個人、法人(団体)については、随時、入会を受け付けています。

■ 会員になりますと、防火防災に役立つ情報や消防関連各種講習会の開催案内などの提供を受けることができます。

提供される主な情報や案内は、次のとおりです。

- 1 防災広報誌(年4回)
- 2 火災予防ポスター(年2回)
- 3 消防法、横浜市火災予防条例の改正情報
- 4 当協会が開催する消防法に基づく資格取得講習や応急手当普及啓発講習の実施計画
- 5 防災をテーマとした講演会、セミナー研修への参加案内
- 6 防災先進施設等の視察研修への参加案内
- 7 防災関係図書、防災グッズ等の紹介、案内

■ 会員には「正会員」と「賛助会員」の2種類があり、入会時に選択することができます。



		入会金	年会費
正会員	総会の議決に参加できる会員です。	10,000円	12,000円
賛助会員	当協会を援助していただく会員です。	5,000円	6,000円

お問い合わせ、ご入会の手続き

公益社団法人 横浜市防火防災協会 総務課

TEL : 045-714-0920

FAX : 045-714-0921

Eメール : kyoukai@ydp.or.jp



# 令和6年度防災講演会

【テーマ】

## 知っているようで知らない、心肺蘇生法のはなし

### 参加者募集中

開催日時

## 2月5日(水)

開演 15:00 ~ 16:30 (開場 14:30 ~)

場所

横浜市開港記念会館 1階 1号室  
横浜市中区本町1丁目6番地  
TEL 045-201-0708

参加費

無料

申込方法

電子メール又は電話でお申し込みください。

- > 先着順に受け付けます。(定員100人程度)
- > 既に定員に達した場合は、受け付けられない場合があります。

○ 送付先アドレス [bosyu@ydp.or.jp](mailto:bosyu@ydp.or.jp)

○ 電話番号 **045-714-0920**  
(平日 8:30 ~ 17:00)

会員の皆様には、別途当該講演会のチラシを送付させていただきます。



【講師】吉田 茂男 氏

公益社団法人  
横浜市防火防災協会 アドバイザー  
日本臨床救急医学会 評議員  
日本救急救命学会 評議員

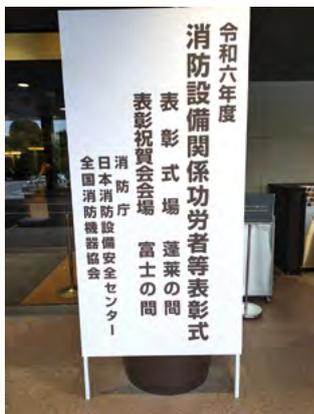


主催：公益社団法人横浜市防火防災協会  
後援：横浜市消防局

## 「防災安全関係者」で鈴木会長が表彰受賞!

～ 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰 ～

令和6年11月1日、東京都内の明治記念館で開催された表彰式において、当協会の鈴木会長が防災安全関係者表彰個人の部で表彰されました(全国で5名)。今回の表彰は、長年にわたる地元や当協会における献身的な活動が、地域の防火防災の推進に多大な貢献をしていると認められたものです。



明治記念館での開催



会場の様子



表彰された鈴木会長

# 新約消防白書

## 可愛い文化は安全を誘う

「ハマくんだ。」テレビに映し出された姿を見て、思わず声が出た。

横浜消防のマスコットキャラクターとして活躍しているハマくんも1974年に生まれ、今年で51歳になる。1980年代から地域発のご当地キャラがブームとなり、2000年代に入ってからゆるキャラという概念が誕生していることから、ハマくんはゆるキャラの草分け的存在になるのでは。

アニメを初め、町の看板 マンホールカバー 工事中のガード 服 文房具など、あらゆるものにキャラクターが登場し、日本は、「可愛い」に溢れている。

ある研究<sup>\*1</sup>によると、可愛いという感情は、オキシトシンという癒しホルモンが分泌され、幸せな気分にな

るそうである。確かに人は可愛いものを見ると、攻撃的感情が消えうせ、思わず頬が緩んでしまう。可愛いは無敵。無敵と言っても強すぎて敵がいいるのではない、そもそも敵が生じないという無敵なのだ。

1985年から37<sup>年</sup>間連続して、火災原因の1位であった放火火災件数が減少し、2022年に2位になり、件数<sup>\*2</sup>も10年前に比べて半数以下となっていることは注目に値する。放火は、心理的要因が大きく、心穏やかな状態で放火に及ぶとは想定し難い。可愛い文化と放火火災件数の減少の間に関係性があるか否かを明らかにすることは困難だが、可愛い文化は、人々の心を穏やかにし、もしかして、安全な社会を形成する一翼を担っているかもしれない。テレビに登場したハマくんを見ながら、そんな思いを巡らしていた。(K)



※1 広島大学院総合科学研究科の入野野准教授らの研究グループによる

※2 横浜市記者発表資料 令和5年火災・救急概況(速報)

注 訂正とお詫び: 本誌60号の本コラム内の「27年」を「37年」に訂正し、お詫び申し上げます。

もう  
妄

げん  
言

た  
多

し  
謝

第29回

年寄りになったからか、父の戦争を考えることが多い。戦争の影を生涯引きずることは誰でも知っている。父は生前ほとんど戦争の話をしなかった。生き延びた父の戦争とはひとりの男の生涯にとって何だったのか。私は関係文献を狩猟した。大岡昇平の「レイテ戦記」もそのひとつである。父は北支で鉄道隊にいた。満州とフィリピンでは同じ戦場とは言えないが、武器を持って地を這う戦いはあった。初めにこれを読んだのは30代だった。淡々と軍艦や兵隊や特攻隊について、日米双方の信憑性のある資料をもとに記述されている。再読して生々しく思う。兵隊は死んだり、

死に損なったりした。凄惨である。著者はレイテ島やミンドロ島(著者はこの島の山中で米軍の俘虜になった。)で戦って死んだ9万の同胞の霊を慰めるために書いたという。鎮魂。戦争体験者の話に「生きて帰って来て申し訳ない」というのを耳にすることがある。死んだ人、死に損なって戦後を生きた人、小説家大岡のように鎮魂のためにできるだけ戦争の事実を書く人がいる一方、黙々と心の一部を凍結して生きたであろう人もいる。大岡のこの本は、冷静で客観的な筆致だからこそ父の戦場の臭い、風、光、爆発音、銃声を感じた。私は最近になって漸く父がそこにいたのだと感じ愕然とした。(し)



# 横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第28回

## 文と写真 ● ジャム

ちょうど昼までかかる仕事の日、昼食をどこでどうやって取るのかは悩ましい。一番安心なのは、お弁当がもしれないが、荷物だったり、鞆だったり、食べる所だったり、やはり悩ましいのである。

植草甚一の「喫茶店で本を読んでいるかい」という短いエッセイがあったことを唐突に思い出してしまった。植草氏は喫茶店をやったことがあったらしい。

小心者はひとりで飲食するお店に入ることができない。どうするんだ、オレ。



ギリシャ神話の女神の名前がついた喫茶店に意を決して入ってみる。丘の上からのみなとみらいの様子を見たかったのだ。

そう、ここは山手本通りに面する元町公園の手前の喫茶店。先客はなし。躊躇せず窓際の席へ。みなとみらいは、もちろん海は見えず、異形(いぎょう)のビルがあるばかり。何に納得したのかは不明であるが、とりあえずは空腹を珈琲の香りとともに、何とかすることができた。

異国情緒あふれる丘の上の都市公園というのが、元町公園のキャッチフレーズ。今でも湧き出ている豊富な湧水を利用した横浜港の船舶のための給水施設があったことから水屋敷と呼ばれていたらしい。1870年頃活躍したフランス人実業家エリック・ジェラルドの名前が残っている。

記憶にないくらい前に公園の坂道を下ったことがあったような気がする。人に人生というものがあるように、公園にも似たようなものがあるのかもしれない

給水施設として世界の船乗りの喉を潤し貢献したが、関東大震災の被害を免れることはできなかった。公園として整備されると水屋敷の面影を残す水路のある遺跡としての公園となり、今や山手の桜の名所でもある。



## わたしのベストショット!!

撮影:近藤 美樹さん



水難救助訓練、気持ちはひとつ

### コメント

茨城県出身、横浜在住48年。納豆と生たまごが苦手です。

休日の一例ですが、朝はパン食でたまごは硬めに焼きます。

プチ贅沢は毎日、少しの果物。イチゴ、メロン、スイカ、梨、ぶどうなど、季節ごとの果物を求めて、産地まで購入に行くことも楽しみにしています。

なお妻は、健康維持のため、毎日となりで納豆ご飯を食べています。

日々の食事づくり、感謝しています。

オススメ  
今回の推薦者  
防災支援課 嘱託職員  
平沼 治



## 朝食はコレ!

当協会事務局員のオススメ 第5回



### 編集後記

昨年10月青森へ旅行。羽田空港で飛行機に乗り込むと、隣の機体には大きな大谷選手の姿、下を見ると荷物を積み込む従業員や誘導員なども見えた。ほどなくして機長の放送、カッコイイと思いつつ、宮崎空港の不発弾爆発も頭をよぎる。飛行機は青森空港へ無事到着。今号では、消防ヘリ全国初の女性パイロット誕生の記事。やっぱりヨコハマ、と嬉しいが、「初」に至るまでのご本人の強い意志や努力、周りの支援などに思いを馳せる。過酷な災害現場、安全と今後のご活躍を心からお祈りしたい。(F)

事務局職員の趣味の紹介

# 私の趣味

No.11 キャンピングカーで  
気まま旅と避難場所

講習課 嘱託職員 前田 久幸



10月に2週間の旅に出ました。登録から14年経った相棒車のキャブコンに乗ってです。出発前に決めていたのは2点だけです。

- 1 長崎原爆資料館まで行きたい
- 2 休暇が終わるまでに帰らなければいけない

横浜を出て、北西に進路をとり長野県、岐阜県に入り、日本海側を走り九州に渡ったのは7日目の昼でした。当然いつもどおり一般道で全行程3000kmの走行でした。道のりは別図のとおりです。高速道路はどこを走っても同じ風景が好きではありません。とは言っても2割くらいは走行しましたが…。

旅の行程を駆け足で振り返りますと…。

- 1 中山道の宿場は読めない漢字が多いなあ、勉強しなきゃ読めません。
- 2 関ヶ原の戦場は狭いなあ、両軍合わせて15万余の兵が戦ったのは信じ難いです。
- 3 琵琶湖は大きいなあ、夕日は海に沈むようでした。
- 4 日本海は海鮮がおいしいなあ、たまの贅沢で舞鶴カニは美味しかったです。
- 5 猛暑日にニュースになる「鳥取砂丘」は小さいなあ、600歩で海岸の端でした。
- 6 神在月だから出雲大社に寄ろうかなあ、行くたびに中国方面からの旅行者が増えています。
- 7 下関の唐戸市場での握り寿司は安くておいしいなあ、若い人たちが大混雑です。
- 8 長崎に投下された原子爆弾は身長2倍くらいの大きさだ、恐ろしいなあ、市民の30%に当たる7万4千人が死亡している。残酷すぎます。
- 9 熊本城は天守閣他一部しか改修されていない、地震の被害が大きいなあ、石垣が崩れている箇所は多々あります、完全復興は2052年になるとのことです。
- 10 阿蘇の草千里は雄大なあ、学生の頃リュック背負って歩いたことを思い出しました。
- 11 別府の温泉は、さすがに日本一だなあ、ゆっくり温泉三昧でお湯につかりっぱなしです。
- 12 新門司港からカーフェリーで移動です、フェリーおおきいなあ、明朝には神戸港に着きます、楽ちん過ぎます。

13 神戸港から500km走れば我が家、一気に走るの嫌だなあ、沼津で美味しい鰻屋寄ります。

キャンピングカーで旅行する理由を優先順位で挙げれば以下のとおりです。

- 1 低予算で長く旅をする
- 2 旅行日程を練るのが苦手で、ホテルの入出時間に縛られるのが嫌い
- 3 相棒犬のミニチュアシュナウザーが泊まれない

各地方の空気を吸い、有名どころに立ち寄り、美食を味わい、同じような考えの人と触れ合い自由気ままな時間を過ごしました。私の場合車中泊は、道の駅と日帰り温泉駐車場がメインになります。最近はワンボックスカーあるいは乗用車で車中泊する人が多くなったとの印象があります。皆さんも災害時等を想像して一度試してみる事をお勧めします。(キャンピングカーのレンタルもあります)

いつも帰宅して思うことは、安心して定住できる我が家があることに感謝するのが一番ですが…。

キャンピングカーの強みは災害時に活躍できることです。「電気を制する者はキャンピングカーを制する」との名言があります。私の相棒車は昨年オフグリッド化に改造し、サブバッテリーに400Ahのリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを載せ、ポータブル電源と合わせて8500Whの容量があります。また、ルーフに560Wのソーラーパネルを装着しました(写真を載せます)。数字で言っても分かりづらいですね、天気が良ければエアコンが2晩くらい稼働する容量です。事実この2週間の旅行では、給電することなく自給自足で過ごせました。

また別の意味での避難場所になります。それは家庭不和を感じた時です。そんな時に家族と距離を置く最強の場所と化します。



**消防・防災  
機器販売**

**消防設備  
工事・点検**

**防災用品  
販売**

廃消火器の処分は所定の  
手続きが必要です。  
買い替え・処分は弊社に  
お任せ下さい。

《創業71周年》消火器リサイクル推進センター 特定窓口

**双信消防設備株式会社**  
横浜市西区中央1-37-24 ☎ 045-321-1884

消防用設備一式 設計・施工・販売・修理・点検

消火器 漏電警報器  
自動火災報知設備 屋内消火栓設備  
避難器具 スプリンクラー設備  
非常警報設備 誘導灯

株式会社 

**東横防災商事**

〒226-0016  
横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206  
☎(045)921-1244  
FAX(045)923-0677

◆地下埋設タンク・配管の  
**気密漏洩検査**  
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)

◆産業廃棄物の処理・再生  
**各種タンク・ピットの清掃工事**  
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取致します)

《ISO14001認証取得》

 **三美興産株式会社**  
〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9番地2  
TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102  
URL: <http://www.sanbikosan.com/>

**創業 50 年**

消火器・消防ポンプ他  
各種防災機器の販売  
火災報知機他・各種防  
災設備の設計施工・点検

かんばら  
 株式会社 **蒲原商会**

横浜市港北区樽町3-1-13  
TEL (045) 542-7266 (代)  
FAX (045) 542-7252

  
**謹賀新年**  
本年もよろしくお願いたします。

 **横浜型地域貢献企業  
横浜市Y-SDGs認証**

横浜市磯子区馬場町1-48 ☎ 0120-963-890

**横浜消火器株式会社**

**応急手当講習テキスト  
販売中**

  
1部500円(税込み)

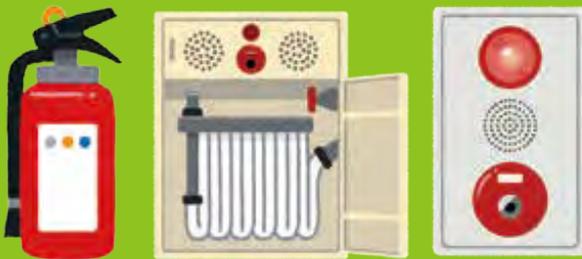
  
人工呼吸用感染防護具  
1個600円(税込み)

問い合わせ先  
 **公益社団法人横浜市防火防災協会**  
講習課 電話 045-714-9909

万が一の準備、できてますか？



# 平山防災設備株式会社



消防設備の設計・施工・メンテナンス・点検まで  
創業60余年の経験と実績にお任せください。

## 045-953-2727

[www.hirayamabousai.com](http://www.hirayamabousai.com)

〒241-0021 横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-35-36

未来をつくる、神奈川県民のための

# 火災共済

組合員の皆さまが火災等に遭った時、互いに助け合う制度です。

建物1,000万円保障の場合

年間掛金例

マンション等  
耐火構造専用住宅

4,000円

戸建て等  
非耐火構造専用住宅

8,000円

※新規加入の際、出資金100円をお預かりいたします。その他、広告内容は概要のため、詳細はお問合せください。

お客様よりこんな声をいただいています！

※当組合で実施している各種アンケートにて、組合員様よりいただいた声より抜粋

手頃な掛金なので  
契約しました！

加入手続きがカンタンで  
早かったです！

割戻金があると聞いて  
うれしく思いました。

丁寧な対応に  
満足しています。

手頃な掛金で  
築年数に関係なく  
加入できます！



横浜市民共済生活協同組合  
横浜市中区日本大通58 日本大通ビル8階

 0120-073-203

【受付時間】月～金/午前9時～午後5時(祝日・年末年始を除く)

横浜市民共済 検索





# 横浜油材株式会社

Yokohama yuzai Co., Ltd.

- 石油部：重油・軽油・灯油・潤滑油
- 洗剤部：クリーニング工場向け洗剤、資材全般  
・工業薬品、有機溶剤  
(業務用水洗機・ドライ機・コインランドリー設備施工全般)
- 工事部：危険物工事設計施工及び解体工事一式
- リサイクル部：中古タンクローリー、中古給油機、中古コンプレッサー等

〒245-0018  
 横浜市泉区上飯田町1465-2  
 TEL 045-803-3508  
 FAX 045-803-3594  
 URL : <https://y-yuzai.com>

**防犯・防災など地域への発信アイテムをお考えの方は、**  
**デザインは (株)ナデックに**  
**印刷は 野崎印刷紙器(株)へご連絡下さい**



クリアファイル



ステッカー



防災カルタ

**担当営業がまずお話を伺います。** 横浜市鶴見区矢向3-15-27 Tel.045-571-3508  
**hongou@nozaki-print.co.jp** まで



これさえあれば、すぐに消防訓練ができる!



誰でもわかる  
消防訓練



誰でもできる  
消防訓練



- A4判
- 32頁
- オールカラー



併せて使えば  
さらに  
パワーアップ!



- 全17分
- トールケース付

●このDVDのすべての権利は、著作権者に留保されており、これを複製、放送(無線・有線)などすることはできません。  
●このDVDは、映像と音声を高密度に記録したディスクですので、DVD対応のプレーヤーで再生してください。

冊子+DVD  
セット

一般財団法人 日本防火・防災協会 / 監修  
定価1,100円 (本体1,000円+税10%)

詳細は  
こちら!



地震、風水害、原子力災害・・・、  
あらゆる災害への対応から日頃行うべき  
備えまで、家族の命を守るためのこの1冊!

## 防災ガイドブック

～もしものときに備えて!～



- A4判
- 20頁
- オールカラー
- 定価187円  
(本体170円+税10%)

詳細は  
こちら!

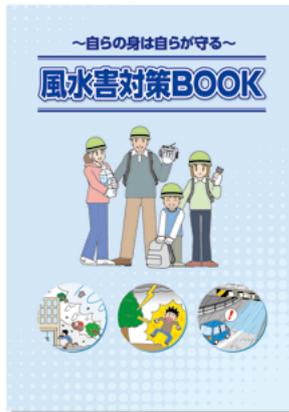


近年大きな被害をもたらし、多くの尊い命  
を奪っている風水害。「自らの身は自らが  
守る」ための最初の一步として!

～自らの身は自らが守る～

## 風水害対策BOOK

●監修 公益財団法人 市民防災研究所



- A5判
- 20頁
- オールカラー
- 定価110円  
(本体100円+税10%)

詳細は  
こちら!



東京法令出版 株式会社

お申込みは  
こちらから

インターネットでお申込み  
<https://www.tokyo-horei.co.jp/>  
(※最新情報等もホームページをご覧ください。)

お電話でお申込み  
0120-338-272  
(※携帯電話からもお申込みできます。)

FAXでお申込み

0120-338-923

公益社団法人 横浜市防火防災協会

〒232-0064 横浜市内南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

URL <https://ydp.or.jp>

FAX 045(714)0921



□ 総務課 TEL 045(714)0920  
□ 防災支援課 TEL 045(714)0929

□ 講習課 TEL 045(714)9909  
□ 救命講習受付 TEL 045(714)9911